

氏名	伊藤善典	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	社会政策・社会保障				
学位	博士(学術)				
学歴	1982年九州大学法学部、1984年同経済学部卒業				
経歴	1984年旧厚生省入省。厚生労働省、旧経済企画庁、旧大蔵省、鳥取県、日本貿易振興機構ロンドンセンター、内閣府、内閣官房、一橋大学経済研究所を経て、2017年4月から現職				
所属学会(役職)	社会政策学会、日本社会保障法学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
3					
(3) 学会発表					
1	該当なし				
2					
3					
(4) その他					
1	地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の役割に関する研究会報告書	共著	埼玉県立大学研究開発センター、32頁	伊藤善典他	2018.3
2	在宅医療・介護における多職種連携研修プログラムの開発報告書	共著	埼玉県立大学研究開発センター、144頁	伊藤善典他	2018.3
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト	地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の役割に関する研究(研究代表者)			2016.4~2018.3
2	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト	在宅医療・介護における多職種連携研修プログラムの開発(研究代表者)			2016.4~2018.3
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	社会保障概論	2017.4~2017.8	社会保障の全分野について基礎から説明するとともに、その理論や基本的考え方が理解できるよう講義を行った。		
2	社会福祉行財政論	2017.10~2018.2	社会福祉の行政・財政の仕組みと課題について、理解しやすいよう、実例をあげながら講義を行った。		
3	共生社会特講Ⅱ(経営)	2017.10~2018.2	社会政策・社会保障の経済的側面について、理論を踏まえ、実例をあげながらわかりやすく講義を行った。		
4	国際保健医療福祉論	2017.4~2017.8	大学院博士前期課程において、国際比較、福祉国家、途上国の課題、国際人口移動、感染症対策等について、実例をあげながら、講義を行った。		
5	社会的排除とソーシャルワーク(前期・後期)	2017.4~2018.2	大学院博士後期課程において、日本と諸外国の貧困と社会的排除の実態、政策等について、実例をあげながら、講義を行った。		
(2) 演習					
1	社会福祉専門演習Ⅱ	2016.10~2017.2	実例を活用しながら、政策立案のあり方について考えさせるとともに、資料の作成・発表の訓練を行った。		

2			
3			
(3) 実習			
1	IPW実習	2016.10	熊谷市の老人保健施設で専門職連携のための実習の指導を行った。
2			
3			
(4) 論文指導			
1	博士前期課程	2017.6～現在	修士論文指導補助
2			
3			
(5) その他			
1	該当なし		
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ 開催年月
1	国民健康保険事務研究会	北海道国民健康保険団体連合会	国保制度改革と今後の展望 2017年7月
2	IPW総合課程	埼玉県立大学地域産学連携センター	地括包括ケアシステム概論 2017年9月
3	広島県国民健康保険運営協議会会長及び国保事務関係者等研究協議会	広島県国民健康保険団体連合会	国保制度の動向と今後の医療保険制度 2018年3月
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県	埼玉県福祉サービス第三者評価委員会委員長	2016.7～現在
2	埼玉県	埼玉県国民健康保険運営協議会会長	2016.12～現在
3	人事院	国家公務員総合職(人間科学)試験専門委員	2017.7～現在
4			
5			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	ドラッグマガジン	地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の役割	2017年10月
2	日本経済新聞電子版	外国人家事労働者の導入のあり方	2017年7月
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学長補佐(大学評価、SD担当)		
2	研究推進委員会委員		
3	社会福祉子ども学科カリキュラム見直しWT		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		